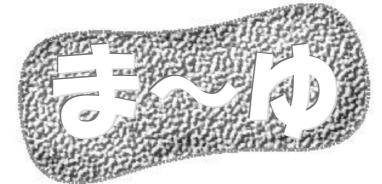
上田地域もの・こと交換制度

野部 (らぶ







蚕都くらぶ・ま~ゆ会報



2007 年7月 21 日 発行



ペッパッペッパッパッ わたしたちの願い **パッパッパッパッ**

蚕都くらぶ・ま~ゆという上田地域通貨モノコト交換制度は、地域で暮らすひとびとがお互いに助け合って楽しく暮らすための制度です。

私たちは、この地域の豊かな自然やひとびとの知恵・技術・経験・人柄を地域の宝と考えます。 その宝を活用することで、より豊かな地域と人間関係を目指しています。

蚕都くらぶ・ま~ゆは、地域通貨を使って人と地域をつなぐシステムです。

- ❖ 人と人との新しい関係が生まれます。
- ❖ 自分の能力を再発見できます。
- ♦ 人が活き活きすることで、地域が元気になります。



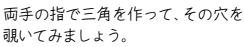
6月は

きめちゃんの健康豆知識 part Ⅱ

思念的印象部子屋



まめちゃんお勧め ひざをちょっとすぼめて、 カカトが平らに着地する 歩き方がいいですよ。



右か左か"効き目"が分かりますよ。





5月のま~ゆ布は ミニ寄席付き

- ●当日開催された"高校生へ体験学習"の 講師を買って出た「ケイちゃん」「ごん べえさん」「まめちゃん」から報告があ りました。
- ●続いて、寿限無の解説と 都々平さんの 素人落語「あたま山」を聞きました。 "おひねり100ま~ゆ"が演者に渡され ました。





出没するかに、火獲量は昨年の半分以下。無念!でも「まあまあ…」となごがか。さすがまでは人。

ミステリーツアーに参加して

朝から小雨ですが バスの中は会員のおしゃべりと熱気でむんむん。バスは東に向かって走っている。どうやら千曲川の上流へ行くらしい。南相木の不戦の像を思い出し、その像はどの辺かしら・・・・。するとそばの女性が「過ぎましたよ」あ一残念。戦時中出征兵士を見送る親と子供の像が建てられ "不戦の像"と名付けられた。以前読んだ「つれづれの記」を思い出す。

バスはさらに上を目指して、着いた所は東京電力の南相 木ダム。標高 1500mで、ロックフィルダムとしては日本一 高いところにあり、白く輝く石灰岩の堰堤から見下ろす直

下の広場は石で模様が描いてある。ナスカ絵のようで天空の世界にきたようだ。ちょっと寒いが写真を撮ったり、周辺の遊歩道も気持ちがいい。

石の世界から日本一長い信濃川(千曲川)の源流へ。渓谷の高原、新緑に包まれた廻り目平キャンプ場。



雨も上がり、にぎやかな昼食タイム。それぞれの手作りが回る。 大自然の中でぜいたくなランチ。 自己紹介もユーモアが入って笑いが起こる。緑の下で思う存分 リフレッシュ。

近くの大深山遺跡にも立ち 寄り、縄文時代中期の住居が復 元されていて「ここに大きな集 落があったのだ」と、しばし は るか昔の人々の生活をしのぶ。

雨で大変でしたが おまけの温泉入浴もでき、 帰りの車内はおしゃべりとルンルン気分で、雨もまた 楽しい一日でした。







ミステリーツアーに参加して

朝から小雨ですが バスの中は会員のおしゃべりと熱気でむんむん。バスは東に向かって走っている。どうやら千曲川の上流へ行くらしい。南相木の不戦の像を思い出し、その像はどの辺かしら・・・・。するとそばの女性が「過ぎましたよ」あ一残念。戦時中出征兵士を見送る親と子供の像が建てられ "不戦の像"と名付けられた。以前読んだ「つれづれの記」を思い出す。

バスはさらに上を目指して、着いた所は東京電力の南相 木ダム。標高 1500mで、ロックフィルダムとしては日本一 高いところにあり、白く輝く石灰岩の堰堤から見下ろす直

下の広場は石で模様が描いてある。ナスカ絵のようで天空の世界にきたようだ。ちょっと寒いが写真を撮ったり、周辺の遊歩道も気持ちがいい。

石の世界から日本一長い信濃川(千曲川)の源流へ。渓谷の高原、新緑に包まれた廻り目平キャンプ場。



雨も上がり、にぎやかな昼食タイム。それぞれの手作りが回る。 大自然の中でぜいたくなランチ。 自己紹介もユーモアが入って笑いが起こる。緑の下で思う存分 リフレッシュ。

近くの大深山遺跡にも立ち 寄り、縄文時代中期の住居が復 元されていて「ここに大きな集 落があったのだ」と、しばし は るか昔の人々の生活をしのぶ。

雨で大変でしたが おまけの温泉入浴もでき、 帰りの車内はおしゃべりとルンルン気分で、雨もまた 楽しい一日でした。







都会の高校生の心に響いた"ま~ゆパワー,

No.93 くまさんこと 熊崎 一也

去る5月10日、東御市の東部中央公園第一体育館において埼玉県さいたま市立大宮北高等学校の体験学習が行われ、ま〜ゆの会員の皆さんにもご協力をいただくことで実りの多いプログラムとなりました。

この高校は例年稲倉の棚田で田植 え体験を実施しており、いつも新聞記 事で取り上げられているのでご存知 の方も多いかも知れません。

これは新一年生を対象にしたホー

ムルーム合宿というものだそうで、数年前までですと棚田で田植え体験をした翌日には松代の大本営跡を見学して平和学習をするというお決まりのパターンで実施されてきました。



しかし、この高校の社会科の教員で江藤善章という 方が教員のお仕事とは別にパンフルートの演奏者とし ても活躍しておられ、たまたま東御市の森 勝・昌子ご 夫妻が主宰されておられる四季の森里山を守る会の 「森を守ろうコンサート」に出演されたことから縁が生 まれ、このホームルーム合宿に里山保全活動が加わっ たのでした。

その森における活動のプロデュースに佐久の林業系 NPO法人「信州そまびとクラブ」とわたくしクマさんの「信州樵工房」が携わってきました。

この森での活動の方にもこれまでにごんべえさんを はじめま〜ゆの方々にもたびたびお手伝いをいただ きました。

今年はこの通常の森林作業を少し切り詰め、多彩な活動によって地域で活躍される人生経験豊かな方々にお願いして日頃学校の先生や両親以外にはなかなか地域の大人と接することのない今の高校生に、その生き様



を語ることにより決して他では得られない 体験をさせようということで前述の江藤先生 から相談を受けました。

ヤマのことなら任せとけのクマさんではあっても、このようなリクエストには応えられるものやらはっきり言って困惑してしまいましたが、頼まれたら嫌とは言えない誰かさんと同じでわたしもなかなか断れず、不安を抱えたままやってみましょうということになりました。

とはいえ私も非常に忙しく、安請け合いしたものの思ったようには人は集められずいささか焦りを感じる毎日の中で刻々と開催日が近づいていたのでした。

しか~し! クマさんにはいざとなれば頼りになる心強い、まさにとっておきの切り札があったのでした。

それはもちろん「ま~ゆ」です。(調子に乗るなと言われそう…)というわけで当日はま~ゆからもごんべえさん、まめちゃん、ケイちゃんにお手伝いをいただきました。(ま~ゆ会員としては他に杉山洋子さん、おじゃる、中澤信敏さんも。)



忙しさにかまけてなかなか事前に広報やお願いをすることができず、ついつい直前のお願いだったにもかかわらず、お手伝いいただいてどうもありがとうございました。

「あの人はどうだろう」とか「自分も手伝いに行くよ」と心強い援助のお言葉も多数あって、実際にはご参加いただくまでには至らなかった皆様も含め本当に感謝しきりです。

実際どのような内容のお話が高校生になされた のかは5月のま〜ゆ市で報告されたようですので そこに譲るとして、午前中の森林作業体験では毎年 のことながらダラダラしているのが多い高校生が、 午後のこのプログラムでは打って変わって真剣に 話し手に注目していたのが印象的でした。

いろいろ言われることの多い今時の若いモン…ですが、実際には彼らにそのような色付けをしてしまっているのは我々大人の方なのではなかったかと思わせる光景でした。

高校生にとっても話し手の皆さんにとってもまさに「一期一会」です。

数年続けてきた森林整備体験ですが、これがきっかけとなって林学系の大学に進んだ子がいたとの報告を聞いて嬉しくなったことがありました。

恐らく二度と会うことがないだろうこの信州 の地で頑張る大人たちの生の体験話を聞いて 同じことがもっと大きな形で花開くのではなか ろうかと、今回のプログラムを通じて期待して います。

来年以降同じようなプログラムが実施されるのかどうかはわかりませんが、もし行われるのであればちょっとたいへんではあってもまた皆さんの協力をいただきながらやってみたいと思いました。

「ま~ゆ」のチカラは人を引き込むチカラ、広く発信するチカラだけでなく、人の心に染み入るチカラでもあるのだなと実感した一日だったように思います。

皆さんありがとうございました。

私からあなたへ

私が地域通貨"ま~ゆ"を知ったのは数年前の朝日新聞の記事からでした。当時地元の金融機関の店長であり、その関係で丸子町商工会の経営指導員であった城下氏との話の中で地域通貨が話題となって、お互いに会員になり参加し始めました。"お金"絶対社会の風潮の中でお互いが助け合い、人間らしく生きていくための手段としての地域通貨の魅力に惹かれました。

団塊世代の私は、"競争"の中に生まれた 宿命から、あらゆる面で戦いを強いられて参り ました。幾多の経験より、大勢の仲間がいっし ょに手を携えあえば、大きな力となりうる事を実 感しております。団塊世代のパワーが、世の中 を変えるといわれております。まさにそのときが やってまいりました。サラリーマン生活も残りわ ずかとなり、新たなる人生の出発としての道を 探るべく、いろいろな活動に足を踏み入れてき

雑 感



No.87 居鶴 貞美

ました。それが地域通貨"ま~ゆ"であり、日帰り農村体験 "信州ええっこ村"・ダチョウの 飼育・そば杏等への参画であ りました。

これからの日本の将来は必ずしも明るいものではなく、今までの政治の付けが日本国民の生活を脅かす事になるのは明白であります。金銭的にも精神的にも、ますます追い

詰められる人が増えてくるものと思われます。 地域通貨の必要性、重要性が見直されるとき がくるでしょう。世界の金融の仕組みを根本か ら覆す可能性を秘めた地域通貨を、もっと大 勢の人たちに PR をして、上田市において確 固たる地位を築いていけるように協力をしてい きたいと思います。

大勢の人たちが地域通貨の利用により幸福が 築けますように。

No.152 石井 繁 さん



これまでま~ゆ市などにあまり顔を出されなかった石井さんですが、5月のミステリーツアーに初めて参加されて"ま~ゆな人"としての広がりを増しました。また、味噌作りのときは(味噌が欲しくないのに)、お手伝いにきてくださっています。豆つぶし機を操作したり、櫂を使って原料を寄せてくれたり、常にもの静かにま~ゆに参加されています。昔味噌作りをした事を思い出して懐かしかったそうです。

石井さんの生まれは小泉で、現在は蒼久 保に住んでいます。自動車の販売会社に勤 務した経歴を持っていて、その頃の給料は 半期の売上目標を立てて、達成できるかど うかで決まったそうです。「どうだったです か、楽に売れましたか?」とお聞きすると、 「だめ、大変だった」と当時を思い出された のか、いつもの柔和なお顔より、ちょっと厳 しい表情をされました。昭和36年に入社し、 主に建築・土建業や農家にダンプやトラッ クを売り、高度成長期に入ってからは、乗用 車に移行していったそうです。その後各整 備会社が出資して作った整備事業組合に移 り、事務管理の責任者になりました。そこで は、車検や労災の書類作りなど、役所との折 衝が多かったそうです。60歳を少し過ぎる まで従事しました。

仕事をやめて、奥様の介護に明け暮れているとき、ふと新聞に載ったま〜ゆの記事が目に留まったそうです。お助けのことに興味を持ち、お茶を飲んだりする(人と人とのふれあいがある)ことを知りました。どういう団体かなと気になって安井さんに電話したそうです。そこで寿限無を紹介され、ま〜ゆについて色々説明を受けました。渡された会報を読んだ時「レベルの高い人たちの集まりだ」と感じたそうです。自分にはたの集まりだ」と感じたそうです。自分には提供するものがないし、「オレー緒にできるかな?」と思い、なかなかま〜ゆの敷居をまたぐことが出来ませんでした。味噌作りや豆まきに少しずつ参加していき、3年が過ぎてようやくま〜ゆの行事に出られる気持

ちになりました。

石井さんは70 代でかとせるというではないにない。「字手はいりでを主まるです。 できまれるです。「子手はいりです。」まに、これのではない。」まに、これのではないのでは、これのではないでは、これのではないでは、これのではないではないのではないではないではないではないではないではないではないではない



情報に関心を持ち、ほぼ期待通りだと満足気です。パソコンを買えばパソコンスクールに通ってとなりますが、石井さんは違います。説明書も少しは読みましたが、販売店の店員さんに「こんな高いものを買ったんだから面倒見てくれや」と半ば脅し(?)てインターネットやメールの設営を頼み、分からないことがおきた時に相談して覚えました。「でも回数は3回くらいかな」とは驚きです。

石井さんは男性介護の会に入っています。 そこでの連絡が電話やファックスでは捉え きれなくて、メールが使え 情報が入るよう になって良かったとおっしゃいました。 ま〜ゆの活動も、これによって知る事がで き、(参加していなくても)「田植えや豆まき が済んで、次は何をやるのか」と楽しみにし て見ているそうです。

イベントでの「一品持ち寄りは苦手だな」 と石井さんもおっしゃいます。それを作れ ない人も、特技がある人も、何もない人も、 いろいろな人たちがいるま~ゆでいいので はと思います。

インタビューが終わったとき、「まるで尋問を受けているようだったない」と冗談と も本気ともつかない感想をおっしゃいましたが、下手な私の質問に気持ちよく答えて いただきました。ありがとうございました。 ミーすけ 記

都々平のま~ゆな日記

2006年7月8日

こんにゃく問答ではないが"農業道の作法,,と自分を納得させているごんべえさんも、自分流を捨てたわけではない。その心の揺れを描き出すのは容易ではないことだ。"赤峰流農法,,を引用させてもらって、たとえ数人でも共感を覚え、彼の熱い思いが理解されたらいいのだが…。本腰を入れて書こう。

8月14日

「私が思っていたま〜ゆは違っていた」甲田利度さんはこう言って退会を申し出た。今のま〜ゆには重度の障害者を受け容れる空気は残念ながら不足しているかもしれない。もしも彼が高いハードルを期待していたとしたら、不慣れによる未成熟と言い換えてもいいような気がする。現状では甲田さんのような"美しすぎる心の人"を驚きを持って見ているしかないが、「それでいいだろうか?」…。

9月5日

んでもないことやっちゃった。こともあろうに"ま~ゆフォルダを完全削除,,してしまうなんて。

会報の編集の追い込みに入っている折も折、 落ち着いて対処する余裕がない。戻す方法があり そうなことは知っているが、そのフリーソフトを 見つけ出して、試してみる心境にはあまりにも遠 すぎる。

「どうしよう?どうしたらいいのだ?」強く深く 頭を抱えて落ち込んだが、しばらくして「こりゃ 諦めるしかない」と心に決着をつけることにした。 「しっかり保存」とバックアップしたものはそう多 くはないので、これから何度溜息をつくやも知れ ず…、あらら、またまた愚痴が出ちゃった。

10月7日

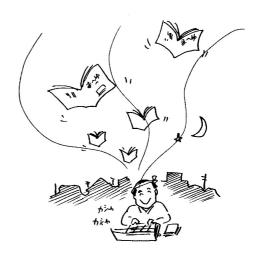
使状(?)を出してから、かれこれ5日目にもなるが、会費未納者から一人として電話も何もない。15人全て継続の意思がないのだろうか?自発的に入会した人たちではないかもしれないので、このはがきも目を通してくれたかどうか?。約1割が脱会するのはもったいないような気がするが、同時にコブが取れてスッキリする思いもある。

名簿は抜けた欄を空白にしておくから、もしも 復活した場合には元に戻すだけですむ。親しい会 員が口添えしてくれて再入会してほしいと願うば かりだ。

10月23日

よ ~ゆ(会報)を見たので「入会したい」。21日 の田中さんに続いて今日も坂田さんが…。 いずれも"のんどりの店"で買い物をして隅に積んであった会報が偶然目に留まったとのこと、PR 誌的な効果を発揮したとはビックリ、そしてにっこり、嬉しくなった。

今夜「やっとこ編集完了」のま~ゆ記念誌も、この分では「案外売れそう」な期待が持てるし、"ま~ゆ"という超シンプルなタイトルにも不安がなくなった。感性が合う人に訴える力は"ま~ゆ"だけで充分かもしれない。サブタイトル"地域通貨をこえる"が自己満足で面映い気がしていたけれど、今日を境に胸を張って売ろうと思う。



10月26日

部公民館の"地域の新聞を作ろう"講座に参加して、「私は地元の元気なお年寄りを紹介する記事を書きます」と宣言したはいいが、肝心のお年寄りに当てがない。どうやって見つけたらいいものやら思案に暮れていたところ、ふと、よっちゃん(40 松野さん)が頭に浮かんで、早速電話を掛けてみたところ"小山泰"、さんを紹介していただいた。ボランティア虹の会で年配者と接していたんだから…との判断は見事に的中。早速面会したら、それとなく思い描いていたイメージに、ドンピシャなおばあちゃんだったから天にも上る思いたった。いい記事が書けそうで嬉しい。またもや「やっぱりま〜ゆだね」この言葉が口をついて出てきた。

一絵と私」

75番 jji と 藤倉佑子

その好きなことを好きなように描くことができる「今」を大事にしたい・・子供のころから絵を描くことが大好きでした。

が…)あまり好きでなかったようです。(どこかで、誰かの声がしますあまり好きでなかったようです。(どこかで、誰かの声がします私って五歳ぐらいまで「おんもはこわい」といって外遊びは

描いて遊んでいたそうです。 家の中でおとなしくお人形さんや布で遊んだり、好きな絵を

す。 たので、きっと母の裁縫をするそばで遊んでいたのだと思いま母は八人家族の着るものは父の背広以外はみな自分で作ってい

たそうです。 兄の使い古したクレヨンで、そのお人形の絵を描いたりしていだったのですが、今も覚えているほど好きでした。だったのですが、今も覚えているほど好きでした。きれいな色の人形の着物は、ほとんど母の着物や襦袢の端切れお人形や着せ替えの着物もたくさんつくってくれました。それに母は(女の子は私一人でしたから)、いろいろな手作りの

→ 「「「「」」」 言に私は従い、絵は描かなくなりを描いていてどうする」という一でも、好きだけで描いていた絵を「もっと描きたい」と思っ作っていたので、母も感心したと話してくれました。全部の色がそろっていないので、あれとこれと混ぜて無い色を

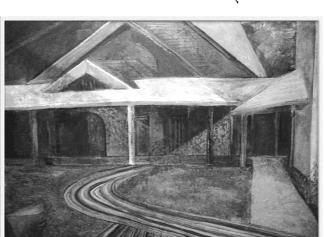
ったのだと思います。あったのか、自分を持っていなかあったのか、自分を持っていなか

ました。

そんな私も結婚をし、に帰り、暇つぶしに父に帰り、暇つぶしに父に帰り、暇つぶしに父にっていたときの父のういていたときの父のういていたとき市手とも言わず…とも下手とも言わず…とも下手とも言わずれしそうな顔に後押しされ、今日また何事にも寛容な夫と家族に恵まれ、今日と家族に恵まれ、今日

いると思っている今日この頃です。 無駄なこととしか思えない絵を描き続ける原動力になってーストリアの画家のことを知ったことが、他人から見るとーストリアの画家のことを知ったことが、他人から見ると出ないまま、たくさんの絵仲間や師にめぐりあい、特に出ないまま、たくさんの絵仲間や師にめぐりあい、特に出ないまま、たくさんの絵仲間や師にめぐりあい、特に

すよ。そんなときは私に近づかないで…実際はもっと「どろどろ」した気分になることもあるんでこんな風に書いていると、とっても幸せに見えるけど、



0-Museum

甲田はきもの店

№.39 甲田

- ■ご利用金額の10%まで「ま~ゆ」をお使い下さい
- ●靴、草覆 下駄などの修理は20%まで使えます

上田市中央4-6-24 Tel 22-1272

七田チャイル・アナテミー上田教室 No.11竹田

●体験レッスンの20%まで「ま〜ゆ」をお使い下さい

上田市中之条101-1利幸第2ビル201号 Tet23-2952

最近公園で特別にいき、思い切りニコニコしてにんにちは~」と、 る人は、10人に1人~2人くらい。余程私の人相が悪いのか、

はたまた印象がわるいのか?…それとも不審者?…と間違われたのか・?

日々忙しすぎて、挨拶を交し合う暇もなくなってしまったのかな?と感じるこの頃である。

さて、ま~ゆの"会報誌"についても同じような傾向がみられます。もちろん反応は、今ひ とつであるし。記事に対しての反応と…出席されない会員への配布に対しての反応が…はたし て何人の会員さんが会報を読んでいるのやら。。。。会報誌は、編集委員の自己満足なのかな… な~んてひがんでしまいそう。わざわざ、家に届けても、反応がない。えーーな~んで???? 必要ないのかな?会報誌は…。

ま~ゆ会報が出来るまで

メールで編集会議の日程を打診・・→ 日程が決定集合・・→ 会報に載せる記事をきめる (誰の担当か)・・→ 担当者がそれぞれに原稿を依頼・・→ 〆切までに再考して都々平さん に提出・・→ それぞれ別の方の記事を校正・・→ ホーおじさんと、都々平さんでカット、 挿絵・・→ レイアウト・・→校正・・→印刷・・→ 綴じ込み・・→ 配布。。。 このようなながれで、会報誌は出来上がる。

いわゆる、手間と暇のかかった、手づくりであるわけだから、 良きにつけ、悪しきにつけ、反応があればなあ~って、おもいます。



編集委員のみなさんは、会員の、皆さんからの原稿が、 集まりすぎて…困ってしまった。とか、会報誌が足りなく なった、とか、 そんなことを日々想いながら…今月もでき あがりました。

何かご意見、ご感想を是非是非お寄せください。 コボル 記

街の気軽なマルチメディアショップ 有 伸和 印刷 No.57 中澤

- ご利用金額の10%まで「ま~ゆ」をお使 いください
- ●今、流行りの自分史を作ってみませんか?
- 会議資料作りに便利な、製本機能付き 高速デジタルコピー機導入しました 上田市国分1-7-12

Tel 22-7710 Fax 22-7718



ま~ゆ会員 自己紹介

名前	No.183 ふかちゃんこと金井 深			
出身地	上田市諏訪形			
長く暮らした所	①神奈川県 34 年②上田市通算 25 年③米国アトランタ 6 年			
血液型	А			
私って こんな人	● ちょっと乾したらすぐミイラ、いったい額はどこまであるの、耳が立ってるメガネの首長族、色の黒さはメキシカン● 野菜作り、商工会の嘱託指導員、特許調査、公民館役員、中国語のトレーニングなどすべて遊びとしてエンジョイ中			
好きなもの	● スイトン、雑炊、芋類、イナゴ、サナギ(食糧難の苦い思い出あるがヘルシー)● 焼酎(貧乏人の酒だったのにうまい)● お袋(戦争未亡人で我らを育ててくれ 91 才の今も好奇心旺盛で前向き)			
苦手なもの	●食べ物を残すこと●蕎麦のかおりをだいなしにする食後の一服おやじ●電車内での不気味なメール操作集団●人目気にせず化粧にはげむ女子高生			
捨てたいもの	「65 年で身についた役に立たない技の数々」 ・魚つかみ獲り、田植え稲刈り、もちつき、網戸障子襖はり ・息止め3分、のど鳴らし、 ・ドリフトスピンターン超高速走行、 ・英会話、ミニマジック、百人一首丸暗記 ・スキー、スケート、バタフライ ・ソフトボールのアンパイヤー			
もしも生まれ 変われたら	●蟻サイズの人間(地球環境への負荷極小)●縄文杉(7000年生きられたらもっと賢く平和な世界をつくる知恵がつくかも)			
私の夢	中国語の次にドイツ語スペイン語ポルトガル語会話をマスターし世界の大多数の人々 と自由に話したい(5年ずつかければ間に合いそう)			

名前	No.195 ゆりちゃんこと	名前	No.207 のりちゃんこと
	荒井百合子		塚原法子
	7101003		
出身地	神奈川県	出身地	長野市伊勢宮(生まれは上田市保野)
血液型	А	血液型	В
私って こんな人	●積極的でも消極的でもない中間の普通人●海より山が好き	私の性格	何でも前向きに良い方へ解釈する(自分流に)
好きなもの	●ガーディニング●甘いもの	好きなもの	●人と話す事、ジグソーパズル、卓球、ゲーム●食べ物=どちらかといえば和食、ケーキ、果物●好きな人=行動力があって優しい人
苦手なもの	●カキ ●畑仕事	嫌いなもの	●人前で話す事、文章を書く事●食べ物=納豆●嫌いな人=自己中心的で鈍感な人(私かな?)
欲しいもの	マンション	欲しいもの	
私の夢	世界中の人たちが仲良く暮 らし病人がいなくて 天寿をまっとうできる楽し い世界があればいいな	私の夢	ゆっくりと自分なりにま〜ゆの活動を理解して、 いつの間にか居座る事

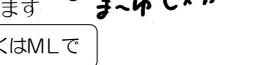
8月5日(日) とれたてのジャガイモで

ŖĬĠŎŖŖĿŖĬĠŎŖŖĿŖĠŎŶŖŖĿŖĠŎŶŖŖĿŖŖŎŎŶŖŖĿŖĬĠŎŖŖĿŖĬĠŎŊŖĿŖĹŖŎŎŶŖŖĿŖ

真夏の恒例

詳しくは 後日MLでお知らせします

その前に 4日にジャガイモ堀 をします 詳しくはMLで



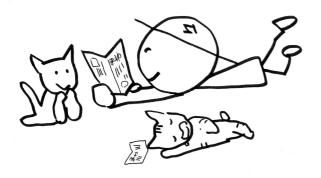
内容未定

10日(月) 中央公民館

夜7時から



誰でも、その時だけでも世話人です



荒井ハリ治療室 No.194 まめちゃん(荒井)

●まめちゃんの健康相談室

体の構造とルールに照らし合わせて、あなたの 体のことを考えてみましょう。

- ●相談には500ま~ゆをお使いください。
- ●治療にはま~ゆを25%使えます。
- ●予約は電話で。

上田市踏入 2-15-10 Tel 0268-24-5627

編集をおわって

今年は天候不順に悩まされています。

期待し、張り切って準備した"ほたるコンサート"は(当日雨こ そなかったものの)グラウンドコンディション不良でお流れ。 ミステリーツアーも「珍しく」往復のバスは雨天でした。

農作業系プロジェクトはもっと大変で、麦刈りも大豆の 草刈りも、天気予報とにらめっこを繰り返し、計画変更の連続 でした。いずれも混乱なく、こなしてきていますが、ま~ゆの 特性である"いい加減さ"の柔軟性が うまく活きているからだ と思います。

ただし、この"いい加減さ」は反面で問題があることも事実 で、10ページでコボルさんが発言されているような"無反応" もその一つでしょう。

毎号、ま~ゆ礼賛の記事が多いのは喜ばしいことですが、 ま~ゆの活動が一部の人たちに偏ることなく、より活発に、そ して裾野を広げていって欲しいと願います。会員一人一人 が「みんなで築くま~ゆ」の意識を高め、相互の交流を深める ためにも、会報とMLをもっともっと有効に使おうではありま せんか。 都々平

都市・建築工房 No.130ヒデさん(竹内秀夫)

- 一級建築十事務所
- ●地元産木材を使ったローコスト環境住宅の設計料の 5%まで「ま~ゆ」が使えます。

上田市御所274

Tel 0268-28-7532

http://www6.ueda.ne.jp/~toshiken/

代表 ま~ゆ 連絡先

安井啓子 前田光俊

〒386-0041

上田市 秋和 503-6 TEL 27-1230

ホームページ

(検索エンジンで地域通貨 ま~ゆ を開いてください)

※ 会報に広告を載せましょう。掲載料は年間 1,200 ま~ゆです。